

評価対象年度	平成 29 年度
1次評価日（主幹等）	30年7月3日
2次評価日（課長等）	30年7月3日

事務事業評価表（補助金等）

1 事業名	リーダーズ倶楽部活動事業負担金	事務事業コード	102303
2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習活動センター	担当者 高山 理恵
3 事業概要	目的体系	基本目標 生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち	
		政策 生涯学習の推進	施策 青少年の健全育成
		事務事業 リーダーズ倶楽部活動事業負担金	
		予算科目 青少年活動育成支援事業	業務委託 なし（直営）
		実施義務 なし（選択的事業）	国県補助 なし
	根拠法令等		

●事業の内容（D0）

4 補助等の内容		* 補助金、負担金、交付金の具体的な内容	
① 性質	負担金	② 期間	年度 ~ 年度
補助金の種別	団体育成補助	③ 対象	市民団体、NPO等
④ 制度の内容	岡谷市リーダーズ倶楽部は、岡谷市子ども会育成連絡協議会の研修部に属し、地域のリーダーになることを目指す、中学生・高校生で構成するボランティアグループである。平成29年度は、57名が在籍した。「子どもは子どもの中で育つ」という理念の下、野外活動や通学合宿などを通じ、小中学生のために企画、運営の経験を積むことにより、リーダーズ同士の成長や、資質の向上を図っている。主に、小学生を対象にした、わんぱくアドベンチャーや、夏休み交流事業などに際し、各班のリーダーとなり、小学生への指導や、とりまとめを行っている。ボランティアだが、研修参加費については自己負担いただいております、一般参加者よりも負担軽減を図っているが、行事運営には必須であり、継続をお願いしたい。		
⑤ 積算方法			
⑥ 期待される効果（最終的な意図）	県子ども育成連合会はもとより、他市の育成会からもリーダーズ倶楽部の活動に関心が寄せられ、視察にお見えいただいたこともある。将来における地域のリーダー人材育成に寄与するものとなり、今後の地域の活性化につながることを期待している。		

5 補助等の実績

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 件数（件）				
予算件数	1	1	1	1
実際の支出件数	1	1	1	
執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
② 金額（円）				
予算額	238,000	238,000	238,000	358,000
財源内訳	238,000	238,000	238,000	358,000
一般財源				
特定財源				
* 特定財源（負担割合）の説明				
実際の支出金額	230,983	237,963	235,123	
予算執行率	97.1%	100.0%	98.8%	
支出額の前年度比		103.0%	98.8%	

③ 29年度の交付先
岡谷市子ども会育成連絡協議会

●事業の評価 (CHECK)

6 妥当性評価		* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。		妥当性 (1次判定)	
評価項目		はい	いいえ		
①	現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1		5 3	
②	補助等の効果は広く市民に還元され、特定団体の既得権益にはなっていない。	1			
③	全ての対象者に交付している。	1			
④	補助等の基準を明確に定め、市民に周知している。		0		
⑤	社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、補助等の内容に反映している。		0		
⑥~⑩は、補助金の対象が特定の団体に限定される場合に回答		妥当性 (2次判定)		標準	
⑥	補助対象団体では構成員に会費負担を求めており、自主財源を確保している。	1		5 7	
⑦	補助対象団体の会計において、市の補助額を上回る繰越額は生じていない。	1			
⑧	補助対象団体の事務局は独立しており、市は事務的な支援を行っていない。		0		
⑨	補助対象団体の事業実績、決算状況を把握している。	1			
⑩	補助対象団体が補助金を目的どおり使用したか、用途を検証している。	1			

7 有効性評価		* 有効性=成果指標 (項目7/住民の満足度) が向上しているか。		有効性		高い	
評価項目		はい	いいえ				
①	この補助金等が属する施策において、この補助金等の優先度が高い。	1					
②	補助等の目的が未達成で、今後も継続することで成果が向上する余地がある。	1					
③	他の方法と比べて、現金を直接給付する方法が最も効果的で低コストである。	1					
④	補助団体等において、市が補助等を行った目的が達成された。	1					
⑤	この事業の利用者が増加した。	補助・交付件数	前年度比	100.0%	1		

●改善の内容 (ACTION)

8 具体的な課題と改善	
課題	(補助等の制度を有効に活用する上で、現在課題になっていること)
	実費など一定額を負担していただくことを前提に継続してまいりたい。
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	特になし
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

9 次年度の方針	継続して実施
----------	--------